



図書館だより

2023年1月

発行
西和清陵高校図書員会
図書委員/司書

図書委員のおすすめ

『「手紙屋」

僕の就職活動を変えた
十通の手紙』

喜多川泰著

私が紹介する本は『手紙屋』です。これはこれから3年生になる2年生や将来について考え始める1年生に…。

主人公が手紙屋さんと手紙のやりとりをするうえで、どんな考えをしてどんな選択をするのか。ぜひ自分の考え方、将来どうなりたいのかなど考えながら読んでほしい1冊です。



生駒・信貴山縦走



「生駒・信貴山縦走」が今年こそ実施の予定です。ウォーキングが楽しくなる本を何冊か紹介します。

『信貴山縁起』(日本の絵巻4) 中央公論社

京都から信貴山まで鉢に倉を載せて飛ばした「飛倉」の話、帝の重病を信貴山にいな



がら治療した話など、名僧 命蓮の絵物語。(図は、米俵が飛び戻ってきて驚き喜ぶ女たち ↑)

『奈良の「隠れ名所」』

奈良まほろばソムリエの会著

古都奈良の土地にまつわる様々なエピソード。三郷町や平群町に伝わるお話も。



『散歩で見かける草花・雑草図鑑』

三省堂書店

よく見かけるのに名前が出てこない草花たち。この図鑑は花の時期と花の色(青、紫、赤、黄、白、緑)から検索できるから探しやすい。



『夜のピクニック』 恩田陸著

夜を徹して80キロ(!)歩きとおす北高の

「歩行祭」。高3の貴子はこの行事中に、自分を憎むクラスメイトの異母兄弟との関係を変えたいと考えていた。歩行祭に紛れ込む幽霊の噂、墮胎した生徒の父親さがし、意中の相手への告白、様々な思惑を秘めて生徒たちはひたすら歩く。2005年の本屋大賞受賞作。



『ふたりの距離の概算』

(古典部シリーズ 5巻) 米澤穂信著

神山高校の恒例20キロ(!)マラソン大会。校内の様々な謎を解決してきた古典部にやっと入ってきた新入部員が、突然退部した。不必要なことはしない「省エネ主義」の折木だったがマラソン大会中になぜかその謎を解こうとする。



2022年「呪術廻戦」

卓上カレンダープレゼント!

図書館に1年間飾っていたものです。25日中に希望者が複数の場合は抽選。それ以後は先着順。

※カラーイラスト多数。

教室でカバーをかけた本をいつも読んでいた男子がいた。何を誰もいない教室に誰もないときにこっそり確認。マイナーなSFだったけど私も読んだことのある本だった。その本の話さりを聞いた。(?) 振った時の彼の驚いた顔。それがきっかけでお互い意識するようになった。付き合うことになった。デートは本屋が多かった。だが、それを目撃したクラスメイトに「付き合ってるの?」と聞かれた時、恥ずかしくてとっさに否定してしまっただけ。それを彼が見ていた。そのあと、あっさり振られた。「君がかわいく見えなくなった」って。人を好きになることは恥ずかしいことじゃなかった。素直さが大切だった。高校時代のほろ苦い思い出だ。



《司書の高校時代の思い出》